

令和３年度 高齢者虐待に関する研修会報告書
高齢者虐待について～ケアマネと一緒に考える高齢者虐待のこと～

主 催：一般社団法人徳島県介護支援専門員協会
開催日：令和３年１１月６日（土） １４：００～１６：００
場所：リモート
参加者：４２名

研修内容：「ケアマネと一緒に考える高齢者虐待のこと」

第一部：高齢者虐待防止法の基本的理解

第二部：高齢者虐待への支援の実際

講師：特定非営利活動法人とくしま高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク

弁護士 櫻井 彰氏

社会福祉士 西條 志野氏

考察

第一部の櫻井講師の講義ではケアマネジャーが在宅で生活する中で一番身近で、事業所や近所の方からの情報が入ってきやすい存在であるため、虐待と疑われる場合は速やかに各市町村の相談窓口相談に行くことを教えていただいた。

また第二部の西條講師では、実際に家族からのネグレクトを疑われる高齢者虐待を、行政や地域包括支援センター、ケアマネジャーと連携しながら、本人の合意のもと施設に入所してきた事例を分かりやすく紹介していただいた。

今回の研修を通して、高齢者虐待についての基本的な理解を持つことと、ケアマネジャーひとりで抱え込まず、行政や地域包括支援センター、とくしま絆ネットのような権利擁護支援のスペシャリストと協働して取り組むことで、虐待の背景にある家族内での隠れた課題が明確になり、適切な支援を行うことができると感じた。

また、虐待をしていた家族も加害者としてとらえるのではなく、何らかの支援を必要としているという視点で対応していく大切さを学んだ。